

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月20日		記入者		内線	2735
部 名	経済部	課 名	農政課		課長名	阿部 健
事務事業名	新戸地区基盤整備事業					
予算上の事務事業名	新戸地区農道及び水路改修工事					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31530		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政 策 名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					事業開始年度
施 策 名	第3施策 農地の保全と農業基盤の整備					平成15年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
土地改良法						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	新戸地区基盤整備事業		総事業費 189,900,000円 受益面積 26.9ha 財源 国50%、県17.5%、市32.5% 水路改修延長 約4,300m 農道整備延長 約550m			
計画年次	15	年度～	18	年度		
4 事業形態の区分 維持・管理・補修 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
農業振興地域の農用地区域内において、農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立を促進するとともに、自然環境や景観の保全のため、農道整備及び農業用水路の改修を実施する。 事業実施年度(平成15年度～平成18年度)					農業者、市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
工事延長 L = 964.5m  ・水路工 665.3m ・農道工 299.2m						
6 関連・類似事業や他市の状況						
平成11～14年度 新磯地区基盤整備事業						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	0	10,562	35,758	56,700	86,880	
一般財源	0	3,757	11,953	19,565	28,236	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	6,805	23,805	37,135	58,644	
人件費の合計	0	2,670	2,690	2,690	2,690	
事業コスト合計(a)	0	13,232	38,448	59,390	89,570	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	新戸地区基盤整備事業			対象名称 (単位)	受益面積 (26.9ha)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0.0	13,232	38,448	59,390	89,570	
対象数	0.0	26.9	26.9	26.9	26.9	
単位あたり経費(円)		491,896	1,429,294	2,207,807	3,329,740	
前年度比			2.91	1.54	1.51	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	整備率	指標式と指標の説明		整備済み延長 / 整備予定延長	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	416.0	964.5		
目標	0.0	371.0	785.0	1,862.0	1,607.5
目標達成度		1.12	1.23		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	整備率	指標式と指標の説明		(整備済み延長 / 整備予定延長) × 100 (%)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	416.0	964.5		
目標	0.0	371.0	785.0	1,862.0	1,607.5
目標達成度		112.1	122.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		H18年度までの計画に基づいた整備を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
工事コストの縮減に努めるとともに、施設の長寿命化及び維持管理費の低減を図り、トータルコストの縮減を目指す。			機能及び利便性を損なわずに環境に配慮した整備を行なうこと。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			